

## 第29回大阪大学サイバーメディアセンター全国共同利用運営委員会議事要録

日 時 : 平成26年12月25日(木) 14:00～15:41  
場 所 : 大阪大学銀杏会館会議室C(3階)  
出席者 : 西尾センター長、小林、渡辺、岡部、松本、林、安達、中野、疇地、  
森原、下條、小田中、松岡  
欠席者 : 菊池

議事に先立ち、学内及び学外委員の自己紹介があった。

また、委員会終了後にITコア棟の見学を予定している旨発言があった。

### 議 事

#### 【審議事項】

#### 1. 平成25年度に係るサイバーメディアセンター達成状況評価について

企画・評価担当理事のもとに取りまとめられた「平成25年度に係る部局達成状況評価書」について、資料1に基づき内容説明があり了承された。

なお、社会連携、社会貢献の特記事項において、スーパーコンピューティングコンテストが積極的に取り組んでいる施策として取り上げられたことから、共催大学である東京工業大学に対して謝辞が述べられるとともに、本学が導入した学生用外部メールサービス(学生が卒業後も引き続き利用可能)について、各大学の対応状況等の意見交換が行われた。

#### 【報告事項】

#### 1. 業務報告

##### (1) 大規模計算機システム

標記のことについて、資料2に基づき稼働状況等の報告があった。

#### 2. 事業報告

##### (1) 学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点の活動状況

標記のことについて、資料3に基づき報告があった。

次期中期目標・中期計画に向けて、ネットワーク型拠点としてスーパーコンピュータ以外のビッグデータや可視化等での新たな取り組み・成果が重要になってくること、また、拠点の健全な運営のためにはランニングコストを含めた文部科学省からのデュアルサポートが必要であること等について話し合われた。

##### (2) HPCIの現状について

標記のことについて、資料4に基づき報告があり、産業界の利用の割合及び人材育成について意見交換が行われた。

##### (3) 第20回スーパーコンピューティングコンテストについて

標記のことについて、資料5に基づき報告があり、平成27年度は、本センターのスーパーコンピュータを使用する旨報告があった。

なお、本取組みを学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点の社会貢献の取り組みと

して拡大することについては、今後検討することとした。

(4) ITコア棟新営及び本館改修について

標記のことについて、資料6に基づき報告があり、各大学におけるハウジング等の現状について意見交換が行われた。

(5) 新スーパーコンピュータ「SX-ACE」について

標記のことについて、資料7に基づき報告があった。

3. 委員会報告

(1) 全国共同利用情報基盤センター関係

① 第23回・第24回全国共同利用情報基盤センター長会議

(5月23日、11月7日開催)

本学及び国立情報学研究所が当番校として開催された標記会議について、資料8に基づき以下の審議内容等の報告があった。

- ・ 文部科学省から学術情報基盤等に関する最近の動向について、第5期科学技術基本計画の検討が進められており、その中で、学術情報の流通のための基盤整備が急務であること、及び次世代のスーパーコンピュータにおいては幅広いアプリケーションに対応できる汎用システムが求められていることの報告があった。
- ・ 国立情報学研究所から次期SINETについて、国内基幹ネットワークを100Gbps規模で整備し、国際回線についても段階的に100Gbps化していくことの報告があり、今後、可及的速やかにSINET5に移行することで、センター長会議のコンセンサスがとれた旨の報告があった。
- ・ 大学のデジタル教科書の共同製作と流通についても、センター長会議の下に部会を設置して検討していくこととなった旨の報告があった。

② 第13回・第14回・第15回学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点運営委員会

(2月7日・7月10日・11月7日開催)

標記のことについて、資料9に基づき、審議内容の報告があった。

その後、SINET5についてデータセンターの設置に関しての質問があり、環境によっては個別対応や設定変更等の対応も可能であるので、国立情報学研究所に相談して頂きたいとの回答があった。

③ 第20回・第21回認証研究会(2月26日・10月17日開催)

標記のことについて、資料10に基づき、審議内容等の報告があった。

④ 第71回・第72回コンピュータ・ネットワーク研究会(2月26日・10月17日開催)

標記のことについて、資料11に基づき、審議内容等の報告があった。

⑤ 第3回・第4回クラウドコンピューティング研究会(2月26日・10月17日開催)

標記のことについて、資料12に基づき、審議内容等の報告があった。

⑥ 国立大学共同利用・共同研究拠点協議会総会(12月5日開催)

標記のことについて、資料13に基づき、以下の審議内容等の報告があった。

- ・ 文部科学省から国立大学共同利用・共同研究拠点の期末評価の在り方、次期認定の方法、及び第3期中期目標期間における運営費交付金の在り方等について説明があった。
- ・ 拠点側から、期末評価の在り方と次期認定の方法について、要望を出したことの報告が

あった。

また、本日（12月25日）開催された文部科学省研究環境基盤部会において、国立大学共同利用・共同研究拠点協議会の執行部が、国立大学共同利用・共同研究拠点の諸活動に関する説明をされた旨の報告があった。

#### 4. その他

次回の全国共同利用運営委員会は、開催時期が未定であるが、別途日程照会をしたうえで決定する旨発言があった。